

殿様の見積

WEST

Vol.2

流行は追うものではなく 自らが作り出すもの

Photo/Hiroaki Inada
Illustration/
MAYUMI KUBOTA
Text/Kenji Iwata

〈DATA〉

●トライアル南大阪店

代表：牧原道夫

大阪府堺市八下町4-102-9

☎0722-54-7039

営業時間 am10:00~pm8:00

am11:00~pm7:00(日・祭日)

定休日 月曜日



トライアル南大阪店

マフラー交換だけでも
大きく差が出るのだ



走りにはミックスした
本物のエアロチューン
今年はコレですよ

トライアルが考えるGTRチューンの系統は2つ。第一は走りを中心にしたハード部分のチューニング。もうひとつはスタイリングを中心にしたソフト面でのチューニングだ。特にR33がデビューしたことを考えると、当然旧モデルとなるBNR32だけに、これからは旧型というイメージを変えるために、GTRといえどもエアロチューンを意識していいのではないかと考えている。そこでトライアルが勧めてくれたR32の予算別チューンだが、10万円コースではエンジン面のライトチューンから入る。まずはマフラーの交換で、最近人気の高いアベックスのスーパーメガホンをチョイス。たかがマフラーだけと思いがちだが、ベースエンジンのポテンシャルが高いために、マフラーチューンだけでもバカにはできない変化を得ることができるのだ。

30万円コースは、10万円コースの上級者版といった感じの内容。マフラー交換が中心になるのは同じなのだが、ここではアベックスのハイパーメガホン。このマフラーは公認車検に対応するもので、フロントパイプや触媒まで交換するタイプ。これにAFCセッティングをプラスするのだが、これはエアクリナーのスーパーインテークと燃調を取るための電子バypass AFCのセッティングで、クリーナー交換によるセッティングの変更を確実にしない、吸排気系のグレートアップを図るのだ。以上、定番ともいえるチューニングだが、十分な効果があるからこそ定番。ストリートレベルならまず不満のない性能を発揮してくれるだろう。

10万円、30万円コースという予算は、GTRチューンの中では初歩的なモノ。そこで無理のない範囲でまずは走りのグレートアップを狙ったわけだが、決して予算が低いからといって性能アップの幅も低いというわけではない。ライトチューンでもレベルの高い性能を得られるのがGTRの特徴であり、魅力のひとつでもあるということだ。



デュアルファンネル構造のスーパーインテーク



ECUの交換などの相談はじっくり煮詰めて